

人がすぎ。
まちがすぎ。
だから、
ここで
はたらく。

さつま町職員採用試験総合案内

まち・ひとの 「役に立つ」を仕事に

さつま町は鹿児島県北西部に位置し、紫尾山をはじめとする山々に囲まれた盆地です。平成17年に宮之城町・鶴田町・薩摩町が合併し、さつま町が誕生しました。町のほぼ中心を南九州一の大河である川内川が流れ、その流域に田園や森林、温泉、市街地が広がっています。主要都市へ通じる国道3路線が町の中心部で交差し、鹿児島市まで約70分、鹿児島空港まで約40分と交通アクセスも比較的良好です。



さつま町の求める人材

町民感覚を有する職員

チャレンジ精神を有する職員

経営感覚を有する職員

豊かな人間性を有する職員



さつま町長 上野 俊市

地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化による急激な人口減少を背景に、大きく変化をきています。また、デジタル化の進展や新型コロナウイルス感染症の影響等を受け、住民の価値観や暮らしは大きく変容し、行政に求められる役割や自治体運営の在り方は更なる転換期を迎えています。

このような中において、本町では、事業者、北さつま農協、町商工会、町観光特産品協会が垣根を越えて結束し、町独自の地域ブランドである「薩摩のさつま」を立ち上げた他、「希望輝く さつま町SDGs推進宣言」と「持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言」を行い、町を挙げて持続可能なまちづくりの実現に邁進しています。

時代の転換期である今だからこそ、前例にとらわれない柔軟な発想と、変化を恐れず「今こそ待たなし」の思いで挑戦するチャレンジ精神を持った皆様の新しい力が必要です。

「夢と希望のある さつま町の未来を創る」ために皆様と一緒に働けることを楽しみにしています。

さつま町ってこんなトコロ



住民同士の
距離が近くて
人があたたかい



子育て支援が
充実してうれしい



自然が好きなら
もってこいの環境

さつま町をひと言で表すなら「コンパクトな田舎まち」。

スーパーやコンビニ、病院、銀行など生活に必要なものは町の中心部にあるので、日常生活で不便を感じることは少ないです。物産館や農産物直売所では新鮮な地元産の野菜・果物のほか、地域のおばあちゃんが作ったお惣菜などを購入できます。スーパーよりもお手頃な商品が多く、ちょっと得した気分になることも。さつま町は人と人の距離が近いので、おすそ分けをいただく…なんてこともあるかもしれません。

町には車移動に便利な国道が3本整備されているので、主要

都市への交通アクセスは良好です。買い物、レジャーなど行動の幅が広がると、さつま町での暮らしはより充実します。ホテル舟やタケノコ堀り、キャンプなど自然を満喫したり温泉でリフレッシュしたりと、いろんな楽しみ方ができ、自然が好き、オンオフはしっかり切り替えたいという人にはもってこいの環境です。

さつま町は、子育て中やこれから子育て予定の世帯をサポートする制度も充実しています。保育料の軽減や18歳以下の医療費助成などの支援のほか、地域ぐるみで子育てを見守り、協力しあえる環境づくりを推進しています。

このまちが好きだから このまちで働く

担当業務や職場の雰囲気、仕事のやりがい、地域との関わりなど
気になるところ。現場目線での素直な思いを語ってくれました。

「町民の立場で」暮らしをサポート

末永 さつま町役場に入庁してもうすぐ1年。仕事には慣れましたか。

上大迫 少しずつ慣れてきましたが、町民の生活に密接にかかわる業務なので緊張感がありますね。今は住所変更手続きや各種証明書の発行、マイナンバーカードに関する手続きに加え、出生届や婚姻届の受理等、窓口全般の手続きを担当。迅速で正確な手続きと、町民一人ひとりに合わせた対応を心がけています。

末永 業務は多岐に渡っていて、注意深く確認すべきところがたくさん。私たちが登録した内容が公共サービスを提供するうえでの基盤になっているから、少しでも誤りがあれば町民



の方にご迷惑をおかけすることに…。疑問や不安に思ったところはその都度確認することが大切。

上大迫 法律を守って適切に対応しなければならない反面、いかに柔軟に対応できるか。一人ひとり状況は異なる中、時間との勝負だなと感じます。

そのような中で、出生届や婚姻届など、町民の方々の新たな門出に立ち会えるのはこの仕事の醍醐味。友人の婚姻届を受理したときは感慨深かったです。

末永 町民と直接顔を合わせて接する仕事だからこそですね。住所変更や戸籍にかかわる手続きは、私たちにとって毎日の業務のひとつだけど、町民の方にとってはめったにないこと。場合によっては他の課での手続きも必要になります。さつま町役場全体の業



務の知識も持ったうえで分かりやすく説明することが求められることも多いですね。そのときは、専門用語は使わずにかみ砕いて説明したり、紙に書いてお渡ししたり、「町民目線」での対応が大切です。

上大迫 役場での手続きは事務的なイメージがあったので、こんなに柔軟に対応していたとは意外でした。その分、町民の方から「親切に対応してくれてありがとう」と喜びの声をいただいたときは、改めてやりがいを感じます。



さつま町だからできること

上大迫 末永さんは薩摩川内市出身なんですよね。ほかの市町村から見たさつま町ってどんな印象なんだろう。

末永 さつま町は地域のつながりが強く、職員と町民との距離が近いなと感じました。地域の小さなイベントから町の大きな祭りまで、職員が運営や片付けなどに携わっています。さつま町青年団に参加している職員も多く、地域を盛り上げたいという気持ちがひしひしと伝わります。地域行事への参加は、地域の方々や日ごろの業務では関わるのが少ない職員とも交流できる貴重な機会です。

上大迫 言われてみれば、職員を含め町民同士の距離は近いかもしれせんね。

末永 さつま町ならではの行事も多く、19歳のさつま町出身者が芋焼酎造りを体験し、自分たちがつくった焼酎で20歳の祝杯をあげる「19歳の焼酎プロジェクト」はおもしろいと思いました。

上大迫 小さな町だからこそできるイベントですね。



ワークもライフも充実

末永 そういえば、上大迫さんは民間企業からの転職でしたよね。

上大迫 地元さつま町に戻りたかったのと、ワークライフバランスを改善したかったので転職しました。民間企業はお客様目線の中にも会社の利益を常に意識しなければならなかったの、心苦しかったというもあります。今は純粋に町民のメリットだけを考えて仕事ができるのでとてもやりがいがありますね。プライベートの時間ももしっかり確保できるので、願っていたライフスタイルを実現できたのはうれしかったです。

末永 職員同士でお互いさまの気持ち浸透しているから有給休暇はとりやすいですね。夏季休暇や結婚休暇などの特別休暇をはじめ、育児支援制度や介護支援制度も充実しているので、理想のワークライフバランスがかなえられそうです。



さつま町が好きだから

上大迫 入庁して驚いたのが、思っていた以上に業務内容が幅広いこと。民間企業での経験があるからこそ、できる仕事もたくさんあるなと感じました。

末永 7年半で2課の異動を経て、町民環境課町民係に。異動は大変ですが、覚えた知識はどの仕事にも生きるし、私生活でも役立ちます。職業柄、身近な人から尋ねられることが多く、そんなときはさつま町の職員で良かったなと充実感があります。

上大迫 町民の役に立てていると実感できることが仕事の原動力になります。私はさつま町が好きだから、一緒に働く人もさつま町のことが好きだったらうれしい。さつま町と町民のことを思いながら仕事をしている先輩方は、発言に説得力があるし、みんなの心を動かして巻き込んでいくパワーがある。そんな人と一緒に働きたいです。

末永 小さな町だから地域のつながりは強いし、できること・やらないといけなこともある。そういうことをまるっと楽しめる人と一緒に働けたら、さつま町はもっと魅力ある町になりそうですね。



一般行政職

町民環境課
町民係

上大迫 みなみ

令和5年度入庁

さつま町出身。民間企業で6年働いた後、さつま町役場に入庁。町民環境課町民係で勤務中

一般行政職

町民環境課
町民係

末永 冬美

平成28年度入庁

薩摩川内市出身。保健福祉課、企画政策課を経て、2023年10月に町民環境課町民係に配属

信頼を大切にした地域貢献に努めています

職場でも、プライベートでも



一般事務職

農林課

普段働くうえで気を付けていることは？

「信頼関係を築くこと」に気を付けています。
働くうえで、人間関係のよい職場環境で働くことも大切であると感じます。その中で、信頼関係があれば、お互いの仕事の進捗状況を共有するなどチームワークが向上し、仕事の効率化が図れると思います。

仕事のやりがいや魅力について教えてください

仕事をするうえで、多くの人と関わることができ、仕事を通して多種多様な考え方や価値観と出会うことができます。また、社会情勢や住民ニーズが刻々と変化している状況の中で、すべての町民に対して平等なサービスを提供できることにやりがいと魅力を感じます。

これからの目標や意気込みをどうぞ！

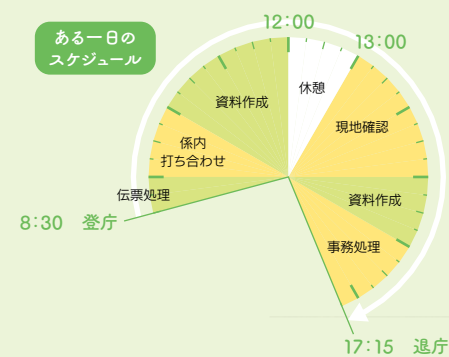
新型コロナウイルス感染症で自粛していたイベントや活動がようやく再開し、コロナ前の生活に戻ろうとしています。今後は、そのようなイベントや活動等へ積極的に参加し、業務以外においても地域住民と密接に関わりたいと思っています。



農林産物の生産や販売など多様な角度から向き合います



農林業に関する知識や技術が身につきます



こんな人と働きたい！

- ◎さつま町に対する愛情が深い人
- ◎さつま町に貢献したいと思える人

農林課 農政係
増穂 真二
(令和3年4月入庁)



わたしの“THE さつま町”

紫尾温泉・紫尾神社

晴れた日には天草雲仙まで望む北薩最高峰・紫尾山。麓の紫尾温泉は紫尾神社の拝殿下から湧き出るため「神の湯」とも呼ばれています。



さつま町のくらしを縁の下から支えたい

身につけた技術で



土木技師

水道課

さつま町職員になろうと思ったきっかけは？

在学時に専攻していた土木分野の仕事を探していたところ、さつま町役場が土木技師を募集していることを知りました。生まれ育った地域に恩返しできればという思いと、前職で工事の施工管理をしていた経験が活かせるのではないかと考えたことが公務員を選んだきっかけです。

普段働くうえで気を付けていることは？

技術分野の仕事には専門用語や個別名称が多々ありますが、住民の皆様への説明の際には、これらをそのまま使うのではなくかみ砕いて説明し、より理解していただけるよう心がけています。私自身、働き始めた時は専門用語等が分からず苦戦した経験があるため、初心を忘れないようにしています。

仕事のやりがいや魅力について教えてください

蛇口を捻れば水が出る。生活の中で当たり前のことだと思います。この当たり前を供給し続けることが水道課の仕事であり、生活の一部を陰ながら支えられる仕事にやりがいを感じています。建設関係は完成したものが形として残るので、それらも達成感が得られる一因となっています。

わたしの“THE さつま町”

鶴田ダム

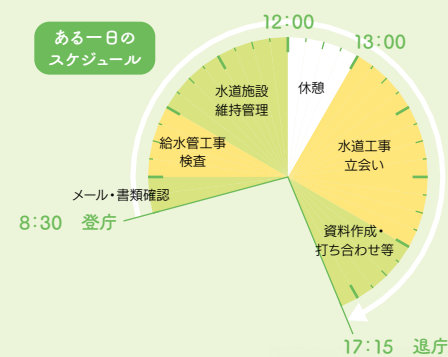
長さ450m、高さは117.5mと大迫力の重力式コンクリートダム。事前に予約をすれば普段は入れないダムの内部を無料で見学できます。



安全で安心な水を届けるために、現場での点検や作業にあたります



施工図面を作成するだけでなく、過去の施工図面などを精査しながら非常時に備えます



こんな人と働きたい！

- ◎一つの分野に長く従事したい人
- ◎専門分野の仕事を極めたい人

水道課 工務係
登尾 翼
(平成31年4月入庁)



今度は自分が守り、育んでいく

育ててくれたこの町を



一般事務職

社会教育課

さつま町職員になろうと思ったきっかけは？

大学進学で県外に出たことが大きなきっかけだと思います。気候の異なる土地で生活したことで、五感で触れる季節の感覚がさつま町に育まれたものなんだと感じることが多くなりました。育ててもらった町を守っていききたい、なにかできないかなと思ったことがきっかけの一つです。

普段働くうえで気を付けていることは？

担当業務はもちろん、仲間の業務についてもアンテナを広く張り、概要を把握しておくよう心がけています。また、他職員の窓口対応から学び自身の対応に活用することもあります。他課が企画する研修会やイベントなどもチェックして興味があるものには参加するようにしています。

これからの目標や意気込みをどうぞ！

自分より若い職員も増えてきました。自分の仕事だけでなく、周囲に気を配りながら一緒になって業務に取り組むやすい雰囲気づくりを心がけていきたいと思っています。

青少年育成や体験活動支援については、現係異動後もライフワークとして活動をしていきたいと考えています。

わたしの“THE さつま町”

永野鉄道記念館の桜並木

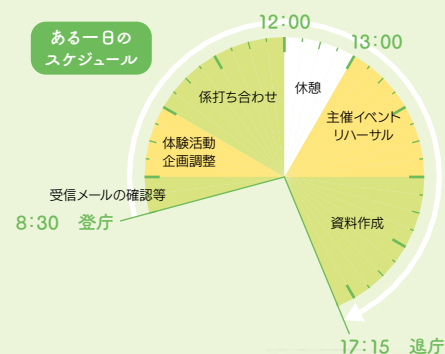
旧薩摩永野駅跡地にある永野鉄道記念館には、当時の車両や踏切などが展示・保存されています。線路沿いに咲く満開の桜並木は圧巻！



予算作成、伝票事務、会議資料の作成などは、どの部署に配属されても業務の基本です



レクリエーション指導など、町内の子どもとふれあいがながら一緒に学ぶ機会もあります



こんな人と働きたい！

- ◎楽しむため(楽しませる)の工夫ができる人
- ◎思いやりがあり気配りのできる人

社会教育課 社会教育係
末吉 裕莉
(平成30年4月入庁)



チャレンジする力を日々磨いています

さつま町を知ってもらい来てもらうために



一般事務職

さつまPR課

学生時代に頑張ったこと、熱中したことは？

勉学はもちろん、アルバイト、留学、就職活動など様々なことに挑戦しました。アルバイトではコミュニケーション能力を身につけ、留学や就職活動では自主的かつ積極的に行動できる力を身につけました。学生時代の経験が、いまの仕事にも生かされていると思います。

仕事のやりがいや魅力について教えてください

様々な業務があるので、多くの経験が得られます。私自身の経験ですが、入庁時は水道課で、現在はさつまPR課に所属しています。異動して新たな業務を覚えていくことは大変ですが、異動先での新たな経験や出会いを体験できることにはたいへん魅力を感じます。

これからの目標や意気込みをどうぞ！

担当業務は、ふるさと納税に関することです。ふるさと納税にかかる手続きや問い合わせの対応、新規返礼品の開拓、税金控除申告処理、ふるさと納税のPR活動などを行っています。

ふるさと納税の目標金額達成や、町外の方に町の魅力をPRし、知ってもらい来てもらえる取り組みを行いたいと思います。

わたしの“THE さつま町”

北薩広域公園

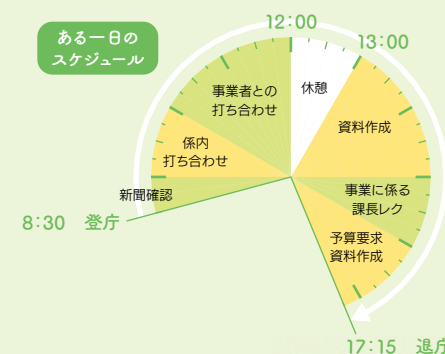
山城をイメージした大型冒険遊具や幼児遊具、キャンプ場など家族で楽しめるスポットが勢ぞろい！疲れたら足湯でひと休みするもよし。



窓口でふるさと納税やイベント等の紹介、手続きを行っています



イベントや観光、移住定住等に関する問合せに対応しています



こんな人と働きたい！

- ◎積極的にチャレンジできる人
- ◎自ら考え行動できる人
- ◎全力で「いま」を楽しめる人

さつまPR課 ふるさと物産係
池山 幸宏
(令和2年4月入庁)



学びや気づきが得られる仕事です

人を助けたい思いを原動力に



消防本部 警防課

消防職

さつま町職員になろうと思ったきっかけは？

私の地元は阿久根市ですが、さつま町は幼い頃に、温泉好きな父と紫尾温泉に頻繁に行くこともあり以前から親しみのある町です。町職員となり、町民の方々と触れ合う中で、さつま町の「人の温かさ」を知り、徐々に町に対する思慕が深まり、今では僕の第二の故郷だと感じています。

仕事のやりがいや魅力について教えてください

傷病者ご本人やそのご家族から感謝のお言葉をいただいた時、訓練で学び得た知識・技術を現場で発揮できた時にやりがいを感じます。消防で学ぶことはすべてが人の役に立つものだと思います。6年目の今でも学びや気づきが多い日々ですが、いつか来る現場に備え今後も技量を高めていく所存です。

受験を控えている方へメッセージを！

さつま町消防本部は、人としてまた、消防士として尊敬できるような先輩方や後輩が多いため、刺激的な環境で自身の成長を感じながら仕事ができると思います。「人を助けたい」という強い気持ちとやる気がある方には、「選んで間違いのない職場」だと自負しています。

わたしの“THE さつま町”

ホタル舟

さつま町初夏の風物詩。無数のホタルが放つやわらかな光を眺めながら、ゆっくり川下り。すぐに予約でいっぱいになる人気のイベントです。

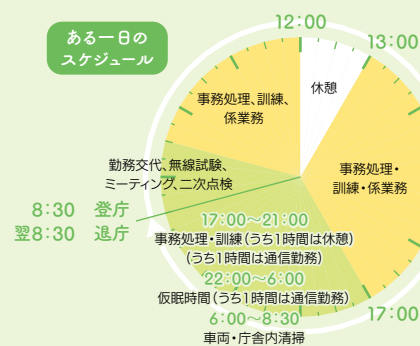


現場活動以外でも、夜間帯は119番通報を受信する通信勤務があります



多種多様な資機材を使用し救助活動を行います

ある一日のスケジュール



こんな人と働きたい！

- ◎体力作りが好きな人
- ◎現場で冷静な判断ができる人
- ◎チームで活動が出来る人
- ◎「人を助けたいという強い気持ち」のある人

警防課 予防係
倉津 森伍
(平成30年4月入庁)



Let's キャリアアップ!

さつま町の未来を担う人材の創出

職員の中には県内外の公的機関や民間企業へ出向し、日常業務や役場内の内部研修では得られない経験を通じて、資質の向上を図り、将来のまちづくりを担う職員を目指してもらいます。

CASE-1

鹿児島県庁 商工労働水産部外国人材政策推進課



- ✓ 外国人材の地域定着に関すること
- ✓ 留学生の県内就職に関すること
- ✓ 外国人材の受入制度に関すること

役場での仕事は、町民の方々の生活に密接に関わる業務や法律などに関する業務も多く、分からないことや1人では解決できないこともあるかもしれません。しかし、さつま町役場には、一緒に悩みながら、協力してくれる仲間がたくさんいます。あなたの担当した仕事が、町民の誰かを幸せにすることができます。一緒にやりがいのある仕事を始めてみませんか。



岩下 希望
平成23年入庁

CASE-2

鹿児島県庁 商工労働水産部販路拡大・輸出促進課



- ✓ 鹿児島県産品の販路拡大・輸出促進にかかる貿易関係事業
- ✓ ASEAN地域、台湾、北米地域にむけた県産品プロモーション事業
- ✓ 公益社団法人鹿児島県貿易協会の運営、経理等

税務課、耕地林業課、建設課を経て、鹿児島県の貿易事業担当課へ出向しています。貿易のスキルアップ研修や海外パイヤーとの商談会の運営、ASEAN地域での「鹿児島フェア」の開催等を担当しています。国を飛び越える幅広い分野にチャレンジさせてくれる我が町と一緒に働きましょう！



現王園 陽貴
平成25年入庁

CASE-3

鹿児島県後期高齢者医療広域連合業務課



- ✓ 資格管理に関すること
- ✓ 保険料の賦課決定に係る業務等に関すること
- ✓ 保険料の徴収猶予及び減免に関すること

令和5年4月から鹿児島県後期高齢者医療広域連合に派遣されています。広域連合は、特別地方公共団体であり、鹿児島県の市町村で構成されています。事務所は、鹿児島市の鹿児島県市町村自治会館にあります。制度に関することはもちろんですが、県内の市町村職員の方と一緒に仕事をしており、それぞれの仕事に対する考え方や取り組みを学ぶことができ、充実した毎日を過ごすことができます。

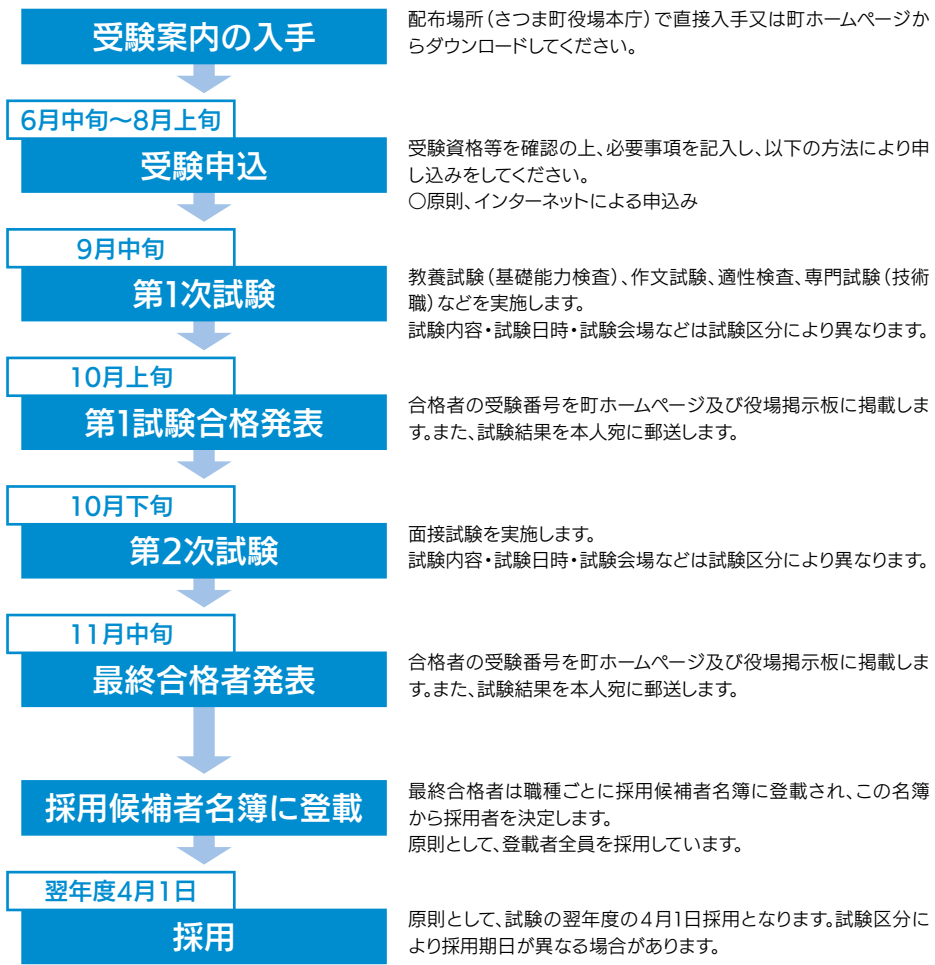


福島 英之
平成21年入庁

給与・勤務条件・福利厚生等について

初任給 (令和7年4月現在)	<table><tr><td>区分</td><td>初任給</td></tr><tr><td>大学卒</td><td>213,600円</td></tr><tr><td>高校卒</td><td>188,000円</td></tr></table> ※職務経歴等がある場合は、左記の額に一定の基準で加算されます。	区分	初任給	大学卒	213,600円	高校卒	188,000円				
区分	初任給										
大学卒	213,600円										
高校卒	188,000円										
各種手当	職員の家族・勤務状況などに応じて、扶養手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当などが支給されます。										
昇給	年1回(民間給与の動向に応じて給与改定あり)										
賞与(ボーナス) (令和7年4月現在)	期末・勤勉手当と呼ばれるもので、下表の割合で支給されます。 <table><tr><td>時期</td><td>支給割合</td></tr><tr><td>夏(6月期)</td><td>2.30月分</td></tr><tr><td>冬(12月期)</td><td>2.30月分</td></tr><tr><td>年間合計</td><td>4.60月分</td></tr></table> ※給与と同じく、民間の動向に応じて改定あり ※新規採用者の夏の賞与は0.690月分(4月採用の場合)	時期	支給割合	夏(6月期)	2.30月分	冬(12月期)	2.30月分	年間合計	4.60月分		
時期	支給割合										
夏(6月期)	2.30月分										
冬(12月期)	2.30月分										
年間合計	4.60月分										
勤務時間	原則として午前8時30分から午後5時15分まで。(うち60分休憩時間あり) ○休日.....週休2日制(土曜日・日曜日)及び祝日並びに12月29日から翌年1月3日 ※消防本部の交代勤務等の場合は、勤務時間・休日の取扱いが異なります。										
休暇	○年次有給休暇.....年間20日(新規採用者で4月採用の場合は15日) ※残日数については、繰越制度もあります。 ○特別休暇.....忌引休暇、夏季休暇、結婚休暇、産前・産後休暇、子の看護休暇、介護休暇など ○その他.....育児休業制度など										
福利厚生	○健康管理.....定期健康診断(毎年実施)、人間ドック助成制度、メンタルヘルス対策 ○福利厚生(互助会制度).....人間ドック助成(配偶者)、インフルエンザ等感染症予防接種助成、職場交流事業、新規採用職員交流事業、家族等死亡時の弔慰金支給など ○共済制度.....鹿児島県市町村職員共済組合の組合員となり、医療保険と厚生年金に加入します。 関連宿泊施設利用助成制度、各種手当金(育児休業手当金など)あり ○公務災害補償.....職員が公務上の災害(負傷、疾病など)又は通勤による災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害を補償します。										
研修	<table><tr><td>自治研修センター研修</td><td>鹿児島県自治研修センターにおいて実施される研修で、県内市町村職員が合同で受講します。 ○新規採用職員研修を始め、経験年数・役職に応じた研修 ○タイムマネジメント、キャリアデザイン、プロジェクトマネジメントなど</td></tr><tr><td>能力開発研修</td><td>職員の自己啓発意識の高揚を図るとともに職務に必要な能力の習得を促進し、効率的な行政運営に資することを目的とする研修制度です。 ○パワーアップ研修(職員が個々に行う研修) ○グループ研修(複数の職員で構成するグループが行う研修)</td></tr><tr><td>庁内研修</td><td>新規採用職員研修、人権啓発研修、法制執務研修など</td></tr><tr><td>派遣研修</td><td>国・県等の機関、鹿児島県後期高齢者医療広域連合など</td></tr><tr><td>その他</td><td>各業務において必要となる研修会など</td></tr></table>	自治研修センター研修	鹿児島県自治研修センターにおいて実施される研修で、県内市町村職員が合同で受講します。 ○新規採用職員研修を始め、経験年数・役職に応じた研修 ○タイムマネジメント、キャリアデザイン、プロジェクトマネジメントなど	能力開発研修	職員の自己啓発意識の高揚を図るとともに職務に必要な能力の習得を促進し、効率的な行政運営に資することを目的とする研修制度です。 ○パワーアップ研修(職員が個々に行う研修) ○グループ研修(複数の職員で構成するグループが行う研修)	庁内研修	新規採用職員研修、人権啓発研修、法制執務研修など	派遣研修	国・県等の機関、鹿児島県後期高齢者医療広域連合など	その他	各業務において必要となる研修会など
自治研修センター研修	鹿児島県自治研修センターにおいて実施される研修で、県内市町村職員が合同で受講します。 ○新規採用職員研修を始め、経験年数・役職に応じた研修 ○タイムマネジメント、キャリアデザイン、プロジェクトマネジメントなど										
能力開発研修	職員の自己啓発意識の高揚を図るとともに職務に必要な能力の習得を促進し、効率的な行政運営に資することを目的とする研修制度です。 ○パワーアップ研修(職員が個々に行う研修) ○グループ研修(複数の職員で構成するグループが行う研修)										
庁内研修	新規採用職員研修、人権啓発研修、法制執務研修など										
派遣研修	国・県等の機関、鹿児島県後期高齢者医療広域連合など										
その他	各業務において必要となる研修会など										
資格取得支援制度	業務に必要とされる各種資格取得に要する経費を助成します。										

採用試験のスケジュール(例)



※試験区分によって1次試験・2次試験の区分がない場合があります。
※試験のスケジュールは、年度により異なる場合があります。

よくある質問

Q1: 採用試験は毎年、いつごろに実施されますか?

A: 原則として、高卒以上を対象とした採用試験を9月中旬から10月中旬ごろに実施していますが、年度によって異なる場合があります。試験の実施については、町ホームページ、広報紙等によりお知らせします。

Q2: 毎年実施する試験区分(職種)が異なりますか?

A: 試験の職種・採用人数等については、定員管理計画や退職等の状況により決定します。毎年、すべての職種において採用があるとは限りません。

Q3: 過去の試験問題は公表していますか。

A: 公表していません。

Q4: 試験に合格すれば必ず採用されますか?

A: 最終合格者は受験資格を満たさなくなった(卒業できな

かった、必要な資格免許を取得することができなかった等)場合や本人の都合による辞退をしない限り、例年全員が採用されています。

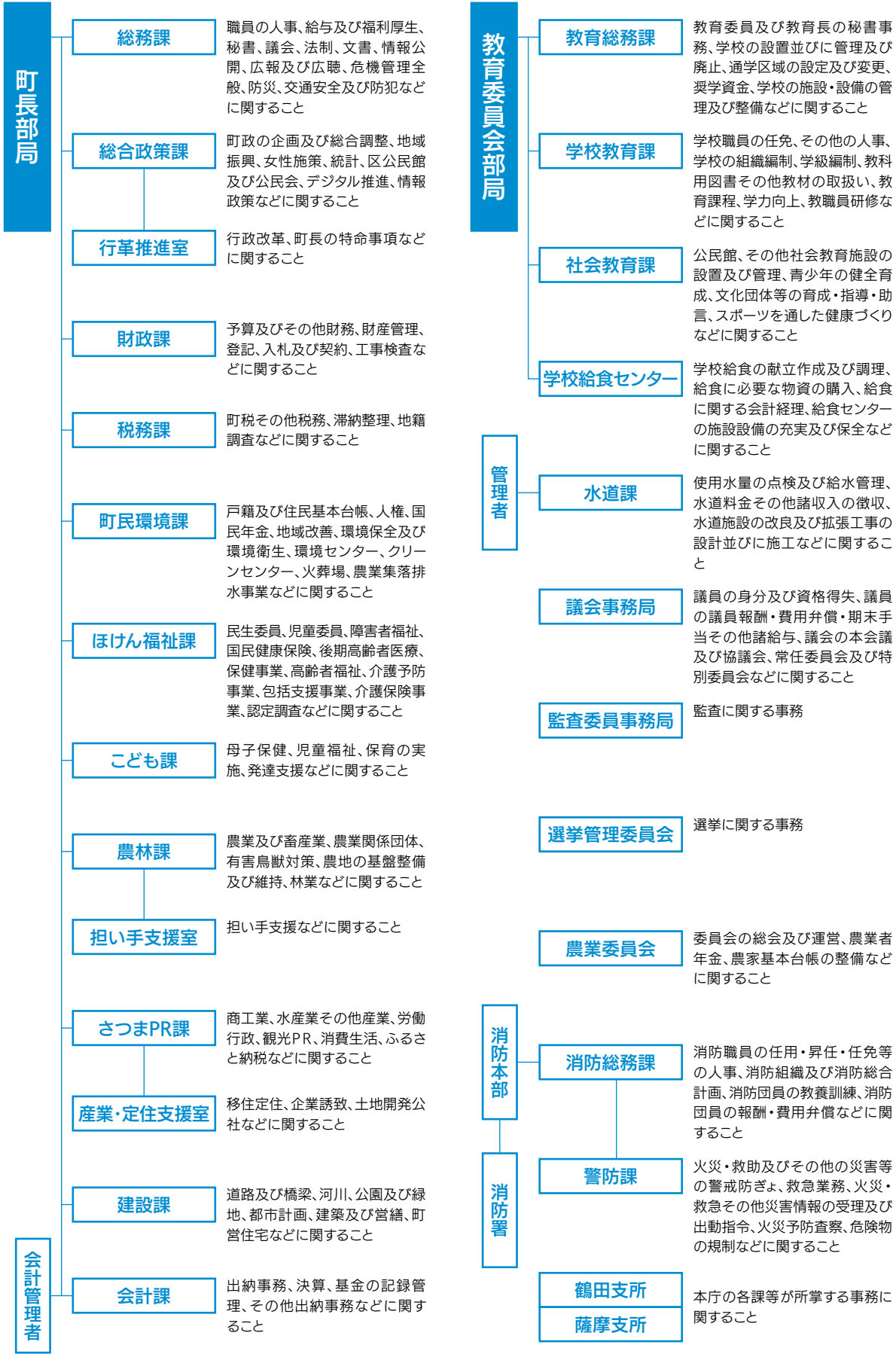
Q5: 新規採用職員が配属される部署は決まっていますか?

A: 新規採用職員が配属される部署として特定の部署が決まっているわけではありません。一部、実務経験や資格・技能等を要する部署を除き、どの部署にでも配属される可能性があります。

Q6: 出産や子育てをしながら仕事を続けることはできますか?

A: 妊娠・出産・育児と仕事の両立をサポートするために、産前産後休暇や育児休業などの様々な支援制度があります。結婚・出産後も安心して働き続けることができる職場環境を整えています。

さつま町行政組織と分掌事務の概要



ひととまちに、ずっと貢献したい。



さつま町 総務課

〒895-1803 鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565番地2
TEL: 0996-24-8912 FAX: 0996-52-3514

職員採用に関する情報はこちら!

